

未だ嘴の黄色い巢立つて間もないやうな小雀に親雀が餌を口づけてゐるのです、私は何ともいへぬよい心持で見えてゐます、この親子の愛があつてこそ、自然が榮えてゆくの、古人が申したやうに、「子を以つて知る親の恩」とか全く子供程可愛いものはないのです、動物のやうに、唯本能的に愛するといふばかりでなく、吾々人間は一步進んで何故愛するか、どう云ふ風に愛すべきか、眞の愛とはどんなものか、親のつくすべき道はどうか、といふ風に考へて、そして間違のない愛を持ちたいものだと思ひます。子供は吾々祖先からうけついで此の血と、肉と、魂を永久に未來に傳へてくれるもので、次の世界を作るものであるから、子供が健康でそしてよく教育されて賢くなるといふことは、此の意味から申しても誠に望ましいことゝ云はねばなりません、皆様もどうかそのつもりで可愛がつてやつて下さい。長々と申まして御退屈であつたことを御詫します。

(本所賛育會託兒所母の會にての講話)

○丸龜市の子供愛護デー

丸龜市に於ける子供愛護デーは丸龜市立東西幼稚園保護者會及鷺鳴學會主催となり、六月六日七日盛大に舉行致しました、宣傳方法及致しましては、第一日六日は美しく裝飾したる自動車に幼兒をのせ、委員及保母附添はれ、幼兒の樂隊を先頭にてピラを配布致しました。

田舎のことゝて幼兒の中には始めて自動車にのりし者が多數でしたから、大喜びにて父兄母姉も幼兒の自動車にのり居りしを見て、大に満足に思ふて居りし様でした。幸ひ此日は中學校記念日の運動會が有りましたので、同校運動場へ行き、澤山の來賓や見物人の中を幼兒の樂隊を先頭に宣傳の謠をうたいつゝ、運動場を一廻り致しました。大に效力があつたやうでした。

二日目七日は午後一時より市公會堂にて幼兒の遊戯會お伽會講演會等を開き、零時三十分兒童愛護の旗を持ち、三百名の幼兒公會堂へニコニコ顔にて集りました。幼兒遊戯會が終りますと、幼兒には別室にてお伽會を開き其道に達した方にお話を御願ひ致しましたので、可愛子供が溢る、ばかりでした。

保護者や一般市民の爲めには、香川縣女子師範學校長藤村與六保育會副會長岡田唯吉兩氏の最も懇篤なる愛護につきてのお話が有りました。

(山下氏報)